

リアルが生きる! 道徳が動き出す!

「**どうやったらそれを実現できるか**」
目を向けるより
ないことやできないこと
ないことやできないこと



今日和さん (女子相撲選手)
スペシャルインタビュー



©朝日新聞社

動画は、この教材の学習に対応しています。

1年14 オリンピックの土俵をみざして

▶ 05:44

📖 指導者

📖 学習者

教科書 p.76~80

内容項目 A 向上心、個性の伸長

主題名 自分らしく生きる

相撲のおかげで、人生を切りひらいていっている

「女の子が相撲をがんばったところでなんになる。」周囲からのそんな声にも負けず、大好きな相撲を続けてきた今日和さん。将来と相撲を結びつけるのが難しい環境のなか、今さんは自ら会社に頼み込み、採用試験の機会を得て、その名門相撲部で初めての女性部員になりました。

海外でボランティアとして相撲を教え、その普及にも貢献したいと語る今さんは、これまでどのような困難に直面し、それをどう乗り越えてきたのでしょうか。お話をうかがいました。

今さんにお会いして

今さんはとても明るかで穏やかで、インタビュー中も終始笑顔で、質問一つ一つ丁寧に答えてくださいました。インタビュー後、編集部員が今さんに、胸を借りたいと申し出ました。向き合った瞬間、場の空気がずっと引き締まり、一瞬ではありましたが、相撲選手としての表情を間近で見ることができたのは、とても貴重な経験でした! (編集部K)

ひとめでわかる! 動画の流れ

- 今さんの自己紹介 (00:07 ~)
- 鯉ヶ沢町では相撲をする子どもが多いのですか? (00:21 ~)
- 今さんはどんな中学生でしたか? (00:47 ~)
- 相撲を続けてきて、大変だったことや悩んだことはありましたか? (01:49 ~)
- どのように乗り越えましたか? (02:58 ~)
- 相撲を続けてきてよかったと思うことはありますか? (03:44 ~)
- 今日和さんから中学生へメッセージ (04:24 ~)

今日和さんから 中学生へメッセージ

人生何が起るか
わかったもんじゃないので

ここから先
おもしろい人生を
自分で作って
ください



中学生の皆さん

動画コンテンツ活用のご提案 私ならこう使う!

1 主教材を強化する

動画コンテンツは、教材文と内容がほぼ同じ場合でも、登場人物の肉声や表情を通じてその思いや感情などがより鮮明に伝わります。また、映像から登場人物の人となりや伝わることで、人物教材では「遠い存在」であることが多い登場人物のことを、身近に感じられるようになります。

活用例1 授業の前段で

教科書p.76の5行までを範読した直後に、動画の1分48秒までを視聴させます。そのまま今さんの顔を画面に大きく映しておき、授業を進めます。早い段階で今さんのリアルな姿や小中学生の頃の様子にふれることで、生徒は教材文の内容を身近に捉え、主体的に学ぶことができます。

活用例2 授業の終末で

授業の最後の12~13分間で、動画全体を視聴させます(5分44秒)。生徒に各自の端末を操作させ、「特に自分の心に響いた言葉」を選ばせます。そして班をつくり、自分

が選んだ言葉の部分の映像を他の班員に向けて見せながら、「選んだ理由」まで交流させます。より主体的に、対話の中で教材を振り返ることで、生徒の学びは深くなります。

2 主教材に新たな内容を追加・発展させる

動画コンテンツに、教材文にはない他のエピソードがあれば、それを視聴することで生徒は新たな学びの機会を得るかもしれません。新たな問いを考えさせる活用例を提示します。

活用例3 授業の終末で

授業の最後の10分間で、動画の4分24秒~の「今日和さんから中学生へメッセージ」を視聴させます(約1分20秒)。そして「今さんが『今の現状で自分は大人になってもここまでしかいけないんだと考えなくてよい』と言ったのは、なぜでしょうか。あなたはどうか受け止めましたか。」と問いかけます。個別に考えたり話し合ったりする活動とおして今さんからのメッセージに添えて、授業を終えます。

動画コンテンツには素敵な機能がいくつもあります。終末に単に視聴させるだけでなく、工夫した活用例を、三つご紹介しましょう!



熊本市立五疊中学校
ももさき たけとし
桃崎 剛寿 先生

